

秋の広域文化財探訪：境川流域シリーズ第10回 大和市南部地区

実施日	2019年10月30日(水) 晴れ	参加者	14名	20200120 修正
コース	小田急町田駅9時3分発－大和市桜ヶ丘駅－金毘羅神社－上和田・左馬神社 －薬王院・信法寺－福田・田中八幡宮(昼食)－(常泉寺)－神明神社－若宮八幡宮 －蓮慶寺－関水家長屋門－高座渋谷駅－小田急町田駅			
概要	昨年10月の広域文化財探訪(大和市北部(上鶴間・深見地区))に引き続き、境川流域の大和市南部「上和田・福田地域の引地川沿いの史跡・文化財」を探訪。			
見 所				
<p>境川右岸の上和田および福田地域の引地川沿いの寺社を中心に探訪。この地域は相模原台地の南端に位置し比較的広く平坦で地に寺社が点在している。</p> <p>古くは渋谷氏、和田氏、近世は旗本の石川氏、中根氏が領主であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左馬神社と呼ばれる神社は流域近辺に十二社、相模七社詣などで知られている。発祥には諸説あり、祭神は左馬頭源義朝から由来している。 ・法信寺の阿弥陀如来立像(指定有形文化財)、石川家墓地(指定文化財)、薬王院の双盤念佛(指定無形文化財)などがある。 <p>1) 引地川右岸沿いに、田中八幡宮、神明社、若宮八幡宮などが鎮座している。昔ながらの小規模であるが、地元の鎮守で信仰を集めている。左岸には花の寺で知られている常泉寺(これら神社の別当寺)が在るが今回は参詣せず。</p> <p>2) 蓮慶寺-本尊：不動明王坐像、木造優婆尊尼坐像(市指定有形文化財)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関水家長屋門は一見の価値がある-町田との違いも興味深い。 <p>3) 各所には、石造物群(庚申、地神、道祖他)があり、道標を兼ねているものがあり往時は大山道、中原街道、八王子道など街道が交差していた有様が覗かれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庚申塔のひとつの流れである猿田彦の塔が認められたのは、町田市域との違いである。 				



金比羅神社



大山を背景に畑に立つ野仏



左馬神社の拜殿前にて



左馬神社の狛犬



法信寺本堂



法信寺の住職にお話しを聞く



法信寺の阿弥陀如来像



田中八幡宮



田中八幡宮の鐘楼



神明神社



若宮八幡宮



若宮八幡宮の猿田彦塔(庚申)



蓮慶寺本堂



蓮慶寺の木造優婆尊尼坐像



関水長屋門（屋敷内から見る）



関水長屋門の前にて